

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : マルチパーパスクリナー

推奨用途及び使用上の制限 : 製品分類-洗浄剤
主な用途-鉱油系汚染物質の洗浄用

会社名 : 日本ケミカル工業株式会社
住所 : 〒424-8558 静岡県静岡市清水区吉川8 1 3 番地
電話番号 : 054-345-3476
FAX番号 : 054-347-6865
担当部署 : 技術部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(精巢)

ラベル要素



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(精巢)の障害のおそれ

注意書き : 【安全対策】
P260 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】
P301+P330+P331 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を水(またはシャワー)で洗うこと。
P363 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P304+P340 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合 : 水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
【保管】
P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学特性・危険有害成分 : 含有成分及び濃度

化学名	濃度 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法		PRTR 法	毒劇法
				表示対象物質	通知対象物		
2-(N-ドデシル-N,N-ジメチルアンモニオ)アセート	2.0	683-10-3	2-1291 2-2709	非該当	非該当	681 ※1	非該当
エチレンジアミン四酢酸 並びにそのカリウム塩 及びナトリウム塩	3.0	64-02-8	2-1265	非公開	非公開	595 ※1	非公開
界面活性剤	1.0~3.0	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
洗浄助剤	1.5~2.5	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
アルキルアルコールアミン	3.0	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
水	80.0~90.0	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当

本品は上記成分のほか、危険有害性物質に該当しない珪酸化合物、染料及び防腐剤を含有する。

※1:2023年4月1日以降、化管法第1種指定化学物質

化審法No. : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

安衛法 表示対象物 : 労働安全衛生法 第57条の政令で定める物（施行令第18条）

安衛法 通知対象物 : 労働安全衛生法 第57条の2 第1項の政令で定める物（施行令第18条の2）

PRTR 法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律

毒劇法 : 毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

情報

- 吸入した場合 : 蒸気を吸い込んだ場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にすること。
もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診察/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱ぎ、局部を石鹼と水で十分洗うこと。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診察/手当を受けること。
- 目に入った場合 : コンタクトの有無を確認し、着用している場合は外し、直ちに多量の清浄な水で15分以上洗眼し、瞼の裏まで完全に洗うこと。その後、医師の診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 吐かせないで直ちに水を飲ませ、直ちに医師の診察/手当を受けること。
ただし、被災者に意識がない場合は何も与えないこと。

5. 火災時の措置

特定の消火方法 : 本製品は引火の危険性はないが、周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移すこと。

消火活動を行う者の特別な : 適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸保護具等）を着用すること。

保護具及び、予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏洩した場所の周辺にはロープを張る等して人の立ち入りを禁止すること。

作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用し、直接人体に触れないようにすること。

屋内で漏洩した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行うこと。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないようにすること。

封じ込め及び浄化の：危険でなければ漏れを止めること。

方法及び機材

- 回収：少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙等を用いて吸着させて空容器に回収すること。
その後、漏出区域周辺を水で洗い流すこと。
洗浄した水等は、地面や排水溝、河川等にそのまま流さないこと。
多量の場合は、土のう、盛土などで流出を防ぎ、回収処理すること。
- 廃棄：廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等）を着用すること。
注意事項：換気のよい場所で使用し、容器はその都度密栓すること。
安全取扱注意事項：他の薬品類（特に強酸化剤、強塩基、強酸）との混合は行わないこと。
衛生対策：取扱い後は、よく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件

- 技術的対策：密栓し、直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に保管すること。
火気、熱源から遠ざけて保管すること。
- 容器包装材料：密栓できるもの。ポリ容器などが望ましい。
製品容器から移し替えて、取扱い・保管する場合には、金属（アルミ）容器の使用を避けること。

避けるべき保管条件

- 混触禁止物質：強酸化剤、強酸から離すこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

- ばく露限界値：製品に関する有用な情報なし。
追加情報：組成物質の暴露限界を記載する。

		アルキルアルカノールアミン
管理濃度		未設定
許容濃度	日本産業衛生学会	未設定
	ACGIH	未設定

- 設備対策：屋内作業場での使用は、発生源を密閉する設備または蒸気濃度が許容濃度以下になるような局所排気装置を設置すること。
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設けること。

適切な保護具

- 呼吸器の保護具：必要に応じて呼吸用保護具を使用すること。
手の保護具：必要に応じて保護手袋を着用すること。
目の保護具：必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：必要に応じて耐油性手袋、保護前掛けを使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体 (20°C)
色	: 青色
臭い	: 無臭
融点/凝固点	: 製品としてデータなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 製品としてデータなし
可燃性	: 製品としてデータなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 製品としてデータなし
引火点	: なし
自然発火点	: 製品としてデータなし
分解温度	: 製品としてデータなし
pH	: 12.6
動粘性率	: 製品としてデータなし
溶解度	: 水と任意の割合で溶解する
n-オクタノール/水分係数	: 製品としてデータなし
蒸気圧	: 製品としてデータなし
密度及び/又は相対密度	: 1.03g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: 製品としてデータなし
粒子特性	: 製品としてデータなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では安定。
特定条件下で生じる危険な反応	: 酸化性なし、自己反応性なし、爆発性なし。
避けるべき条件	: 有用な情報なし。
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、一部の金属
危険有害な分解生成物	: 有用な情報なし。

11. 有害性情報

※下記有害性情報は、JIS Z 7252 により混合物としての GHS 区分を分類した結果に基づく。

急性毒性	: 混合物の急性毒性 (経口) >2,000mg/kg より、区分外 混合物の急性毒性 (経皮) >2,000mg/kg より、区分外 その他急性毒性については、データ不足により、分類できない、または分類対象外
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分 1 成分 \geq 5% より、区分 1
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	: 区分 1 成分 \geq 3% より、区分 1
呼吸器感作性	: データ不足により、分類できない
皮膚感作性	: データ不足により、分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足により、分類できない
発がん性	: データ不足により、分類できない
生殖毒性	: データ不足により、分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データ不足により、分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 1.0% \leq 区分 1 < 10% より、区分 2
誤えん有害性	: データ不足により、分類できない

追加情報 : 組成物質に関するその他の有害性情報
アルキルアルコールアミン

急性毒性 : 経口 LD₅₀ 2.340g/kg (ラット)
刺激性 : アルカリ性のため皮膚・中程度、眼・強い

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性) : データ不足により分類できない
水生環境有害性 長期 (長時間) : データ不足により分類できない
オゾン層への有害性 : データ不足により分類できない
生態毒性 : 有用な情報なし
残留性・分解性 : 有用な情報なし
生体蓄積性 : 有用な情報なし
土壤中の移動性 : 有用な情報なし

追加情報 : 組成物質に関する環境影響情報
アルキルアルカノールアミン
分解性 : 知見なし
蓄積性 : 知見なし
魚毒性 : 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 事業者は産業廃棄物を自ら処置するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理をすること。
汚染容器・包装 : 容器は、中身の液を使い切ってから廃棄すること。
製品が付着している容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
廃棄物の処理、清掃に関する法律及び、関係する法律に従って処理を行うか委託すること。

※必ず当該地域の廃棄規制をご確認ください。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMDG の規定に従う。
UN No. 3267
Proper Shipping Name CORROSIVE LIQUID,BASIC,ORGANIC,N.O.S.
Class 8
Packing Group III
Marine Pollutant 非該当

航空規制情報 : ICAO/IATA の規定に従う。
UN No. 3267
Proper Shipping Name CORROSIVE LIQUID,BASIC,ORGANIC,N.O.S.
Class 8
Packing Group III

輸送の特定の安全対策及び条件

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
- : 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急処置指針番号: 1 5 3 毒性物質及び/又は腐食性物質 (不燃性)

15. 適用法令

法規制

- 消防法 : 非危険物
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物: 非該当
名称等を通知すべき危険物及び有害物: 非該当
- PRTR法 : 2-(N-ドデシル-N,N-ジメチルアンモニオ)アセタート
エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩
※2023年4月1日以降、第1種指定化学物質
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 船舶安全法 : 危規則第2、3条 危険物告示 別表第1 腐食性物質
- 航空法 : 施行規則第194条 危険物告示 別表第1 腐食性物質
- 海洋汚染防止法 : 非該当
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物規制

※必ず当該地域の法規制をご確認ください

16. その他の情報

主な引用文献 原料メーカーのSDS

※注意

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。